

入院患者さまの不安解消

阪大病院では、入院患者さまに受けていただいている治療がよくわかるように、クリニカルパスを本格的に導入してまいります。クリニカルパスは病気や治療方法ごとに、入院から退院までの間に行われる標準的な治療、検査、食事や生活などが時系列で表されているものです。阪大病院としては、クリニカルパスの導入によって、患者さまのためにわかりやすい医療が行われるだけでなく、医療の質や安全性が高まっていくものと期待しています。

クリニカルパス 本格導入

治療と検査がわかりやすく



定期的に関わっている、クリニカルパス・カンファレンス

これまで、入院患者さまに対して、入院時に治療方針などについて入院治療計画書をお渡しして説明し、それぞれの治療や検査の前にも詳しく説明するようになっていました。しかし、口頭による説明だけでは患者さまが十分に理解することが難しい場合もありました。また、いつ、どのような治療や検査が行われるかが患者さまには正確にわからず、入院生活を不安にする要素となる可能性もありました。

また、医師や看護師から、どのような説明がいつされるのかも書かれていません。病院での食事や生活についてもいつから始めるのか、風呂にいつごろから入れるのか、いつになったら退院できるのかもすぐにわかりません。患者さまに治療の進み具合や最終目標が具体的にわかるの

医師や看護師はクリニカルパスの使用によって、適切な時期に、適切で標準的な治療やケアが行え、科学的根拠のないばらつき、無駄な検査や処置、うつかりミスなどが生じにくくなります。クリニカルパスをい

入院から退院までの治療、検査、食事などを分かりやすく示す患者さま用クリニカルパス (肺がんの化学療法)

種	化学療法 (毎週タキソール・パラプラチンのご案内)	主治医	受け持ち看護師
入院準備	入院準備が完了したら、主治医から説明を受け、クリニカルパスをいただきます。	主治医	受け持ち看護師
治療開始	治療開始の前日、主治医から説明を受け、クリニカルパスをいただきます。	主治医	受け持ち看護師
検査・処置	検査・処置の前日、主治医から説明を受け、クリニカルパスをいただきます。	主治医	受け持ち看護師
食事・生活	食事・生活の前日、主治医から説明を受け、クリニカルパスをいただきます。	主治医	受け持ち看護師
退院準備	退院準備の前日、主治医から説明を受け、クリニカルパスをいただきます。	主治医	受け持ち看護師

■ 治療を始めるため
種々の検査を行います
■ 採血、胸部レントゲン、
腹部レントゲン、心電図
呼吸機能検査などがあります
■ 体重を測定します

＝呼吸器内科＝

そのために、病院全体の行事として、クリニカルパス・カンファレンスを定期的に開いて、他の診療科の医師、看護師、薬剤師、コメディカルも参加して、見直しを行い、さらに医学的に質の高いクリニカルパスを作成してまいります。さらに、阪大病院ではこれらのクリニカルパスのデータを分析して、それぞれの病気に、どのような治療が標準的な治療計画になるのかを確立してまいります。

したときには、それに応じた対応をしないと、いけませんし、クリニカルパスにはない治療や検査が必要になるこ

ともあります。医師や看護師が臨機応変に対応しなければいけないのは当然のことです。クリニカルパスは医

学的な証明がきちんとされた治療方法などをもとに作成されています。しかし、患者さまの入院生活の質に大き

な影響を与えるような手術後の食事の開始時期や内容、手術後のドレーン管を抜く時期、痛みなどのコントロール方

ごあいさつ



病院長 松田 暉

新しい年を迎えました。2004年は阪大病院にとって大きな節目を迎えます。

に併い、阪大病院も国立大学法人として運営されることになりま

す。この4月から国立大学の国立大学法人化

められることになると、国立大学法人になる

しかし、阪大病院としては、法人化を大きなチャンスと考えてい

また、高度先進医療を担う大学病院として

原因を解明し、遺伝子治療、再生医療を応用した治療など新しい治療法の開発にもさらに

このように、今年阪大病院にとって変動の年ですが、患者さまのための医療

阪大病院では、昨年5月の健康増進法の施行を受けて、昨年10月1日から全館禁煙を実施してまいりました。その一環として、院内の喫煙室を談話室に改修し、院内の吸い殻入れを全面的に撤去しました。

しかし、禁煙についてはまだまだ十分に理解いただいているとは言えません。医師や看護師をはじめ病院職員にも禁煙教育を行い、入院患者さまだけではなく、ご家族やお見舞客にもたばこの害を訴え、禁煙への理解と協力を呼びかけてまいります。

法人化をステップと医療向上

す。この4月から国立大学の国立大学法人化

められることになると、国立大学法人になる

しかし、阪大病院としては、法人化を大きなチャンスと考えてい

また、高度先進医療を担う大学病院として

原因を解明し、遺伝子治療、再生医療を応用した治療など新しい治療法の開発にもさらに

このように、今年阪大病院にとって変動の年ですが、患者さまのための医療

阪大病院では、昨年5月の健康増進法の施行を受けて、昨年10月1日から全館禁煙を実施してまいりました。その一環として、院内の喫煙室を談話室に改修し、院内の吸い殻入れを全面的に撤去しました。

しかし、禁煙についてはまだまだ十分に理解いただいているとは言えません。医師や看護師をはじめ病院職員にも禁煙教育を行い、入院患者さまだけではなく、ご家族やお見舞客にもたばこの害を訴え、禁煙への理解と協力を呼びかけてまいります。

全館禁煙に理解を

SARS 阪大病院の対応

SARS(重症急性呼吸器症候群)は、保健所に届け出が必要な一類感染症に指定されており、肺炎を起こす確率が高く、約2割の人が重症の肺炎になり、1割弱の方が亡くなります。それだけに、阪大病院では感染の防止に重点をおいた診療体制を取っています。

SARSが疑われる患者さまは、他の患者さまとは別の専用の外来(感染制御外来)で診察をいたします。SARSを心配されて来院される場合は、必ず来院前に電話連絡をしてください。電話で症状やSARSの可能性について問診をいたします。その結果、SARSが疑われる場合は、来院時間を予約して診察を行います。

来院の際には、マスクを着用のうえ、できるだけ電車やバスなど公共交通機関を利用しないでください。病院に到着されましたら、玄関入り口に担当の看護師が迎えに行き、専用の外来にお連れいたします。

診察の結果、SARSの可能性が考えられる場合、指定されている入院専門施設にご紹介することになります。

ホールでXmasコンサート

クリスマスイブの12月24日、入院されている患者さまに、病院からのプレゼントとしてコンサートが玄関ホールで開かれました。楽しみの少ない入院患者さまに少しでも元気になっていただきたいとの願いを込めて病院職員有志で始めたコンサートも今年で10回目。

第一部では看護師がエレクトーンやバイオリンにプロ級の腕前を披露し、ボランティアと看護師ら約30人のコーラス隊がピアノに合わせてクリスマスソングを歌いました。第二部は、「なにわブラックペッパーズ」がゴスペル5曲を歌いました。ホールいっぱいの患者さまらはイブのひと時を楽しく過ごしました。

初の研修医フォーラム

今年4月から大学病院も国立大学法人となり、研修医制度も大きく変わるため、研修医に大学病院の現状を知ってもらおうとともに、研修医の実情を知るために昨年11月21日、医学部講義棟で初の研修医フォーラムが開かれました。約100人の研修医に病院長から法人化へ向けての病院での取り組み状況、臨床研修の必修化とその影響、専門医制度などをわかりやすく説明しました。



Q 阪大病院のレストランや売店は病院が運営しているのですか。

A 財団法人の恵済団によって、売店、食堂や理容室などが運営されています。恵済団は入院患者さまやご家族、面会の方々に、「より快適に、少しでも便利に」をモットーに、充実した施設と心からくつろげる場所を提供しています。

1階にある売店では医薬・看護用品、書籍、日用雑貨、文具、衣類、食品などの他、お見舞いの花や贈答品も販売しています。また、病衣のままでも食事やご飲談にご利用できる、安くて豊富なメニューの食堂・喫茶店のほか、うなぎ、すし、うどんの専門店もあります。

食堂・売店は年中無休で営業しています。また、医学専門書のほかクリーニングや宅配便の取り扱い、FAX受送信、コピー機のあるサービスセンター、理容店、美容室、写真店や24時間オープン軽食コーナーもあります。

各病室にテレビ・冷蔵庫を設置したり、各病棟にランドリーや自販機、公衆電話を設けたりもしています。また、院外では駐車場の整備、パルコニーの花壇植栽など、アメニティーに配慮し、憩いの場の整備・充実にも力を入れています。

14階にある「スカイレストラン」は(株)ロイヤルホテル直営で、万博公園を眼下に、東は生駒の山並み、西は六甲の山々までを一望できます。料理はフランスの三ツ星レストラン「レ・クレイール」で研修したシェフ、五嶋による本格的なフレンチはもちろん、和風の料理もお楽しみいただけます。喫茶だけの利用もできます。土・日・祝日はご要望により、貸し切り営業をしています。銀杏会館には姉妹店の「ミネルバ」があります。**スカイレストラン営業時間：午前11時～午後8時半(ラストオーダー)。土・日・祝日は休み。**
TEL：06(6879)5058



外来化学療法室 抗がん剤治療 快適な環境で

阪大病院に、外来化学療法室が設置され、本格的に抗がん剤治療を外来で受けることができるようになりました。

外来棟の1階にあるエアが12設置してあり、リクライニングチェアが12設置してあり、各イスには液晶テレビが付いており、1～2時間かかる抗がん剤の点滴などもテレビを見ながら行え、苦にならなくなりました。

専門の医師、看護師と薬剤師があり、抗がん剤の調剤や治療中の管理もこれまで以上に質が高く、安全に行えるようになりました。12月1日からスタート

闘病中の子どものために、学習などが遅れないように阪大病院内に大阪府立刀根山養護学校の分教室が



クリスマスリースづくりをする刀根山養護学校・阪大病院分教室の児童たち

ポランティアのあり方を考える 第1回阪大病院フォーラム開催

阪大病院の外来や病棟で活躍するボランティア・病院職員が、病院ボランティアのあり方について考える、第1回阪大病院ボランティアフォーラムが1月9日に行われました。

阪大病院のボランティアグループの愛称は「ふれ愛」。昨年は延べ77人が外来の案内、患者環境整備の介助、小児病棟でのコンサートなど延べ1万1255時間活動しました。

たが、多くのボランティアが集まるこの機会に、病院ボランティアについてよりよく知り、活動に役立てていこうと、今年からフォーラムがスタートしました。フォーラムでは大阪ボランティア協会の早瀬昇事務局長が、医療施設におけるボランティアの可能性をテーマに講演。早瀬事務局長は、「がんばり過ぎないで、患者さまのニーズをうまくつかまえ、患者さまの身になって活動することが大切」と、病院ボランティアのあり方を説明しました。参加したボランティアの方々は、これからの活動に役立てていきたい」と積極的に話していました。

子どもの将来考えて治療 小児外科 手術の傷跡小さく

小児外科が診る病気は、手術によって大きな傷跡ができ、学校でいじめの対象になることもあります。また、再発を繰り返すと、学校だけでなく日常生活に支障をきたし、子ども

の成長にも影響がでてしまいます。当科ではこのようなことが起こらないよう、子どもの将来的なQOL(生活の質)も考慮した治療を行ったり、開発したりしています。

小児の病気で死亡率の高いのは、小児がんです。特に神経芽腫は当科で最も治療件数が多い、早期発見によって、治療成績が向上しています。しかし、骨などに転移してしまつて非常に治りにくい場合もあります。

当科では難治性の神経芽腫の治療は小児科とタイアップして行っています。まず抗がん剤を大量に投与し、全身に広がったがんを治療します。そして、抗がん剤で障害された患

者さまの血液状態を正常に戻すために、患者さま自身の末梢の血管から採取した造血幹細胞を移植します。最終的に、小さくなったがん病巣を手術で取り除きます。この治療によ

って、再発、転移を抑えることができるようになってきました。食道閉鎖や鎖肛などの先天性の消化器疾患は、「生きていければいい」との考えで、大きな手術をして、手術

後も大きな傷跡が残っていました。当科では胸腔鏡や腹腔鏡を使うことによって、ほとんど手術後の傷跡が残らないような手術を行うことができるようになって

きました。高度先進医療を行う病院として、移植も積極的に行っています。胆道閉鎖症などに対する生体肝移植はすでに、通常の医療となつて

います。これからは小腸移植に力を入れていくつもりです。当科で、腸管不全の16歳の男児に対して、祖母の小腸の一部を移植しました。普通の子どもと変わらない生活をして

います。福澤正洋教授は「これからは、より体に負担が少なく、将来、普通の子どもと同じような生活ができるような治療法の開発に努めていきます」と話しています。

ホスピタルミニニュース

ご存じでしたか？ 院内の養護学校分教室

闘病中の子どものために、学習などが遅れないように阪大病院内に大阪府立刀根山養護学校の分教室が

あります。小学部と中学部があり、10人の教員がいます。1週間の許可のた子どもが入室の対

象となります。現在はこの学習が遅れないように阪大病院内に大阪府立刀根山養護学校の分教室が

あります。短期で、卒業します。小学部と中学部があり、10人の教員がいます。1週間の許可のた子どもが入室の対